蒲郡市公共施設マネジメント実施計画 見直し 市民ワークショップ

# ワークショップ・ニュース

これからの公共施設を、みんなで考える

**第１回**

**施設の現状と課題を知ろう**

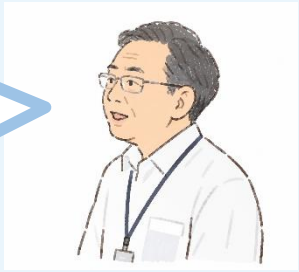
発行　2026 年 9 月
蒲郡市総務部資産マネジメント課

**開催日時**　令和 8 年 9 月 6 日(日)　9:30～12:00
**会 場**　蒲郡市役所 北棟集会室
**参加者**　蒲郡市民 25 名
**運営**　蒲郡市・名古屋大学・(株)対話計画

## 1 はじめに　どんな集まりだったの?

### 主催者あいさつ （蒲郡市　総務部長　小田さん）

- 市の公共施設の多くは建ててから年月がたち、**近いうちに多くが建て替えの時期**を迎えます。一方、市の人口や年齢構成、市民の暮らしも大きく変わっています。いまの暮らしに合った公共施設のあり方をみんなで考え、**次の世代に大きな負担を残さない**ようにしたい。
- 今回は、幅広ご意見を聞くため、公募ではなく**無作為**ご案内し市民の中から、年齢や性別が偏らないよう調整して参加者を決めました。11 月まで全 3 回開催します。難しい課題ですが、少し肩の力を抜いて気軽にご参加、ご意見をお願いします。



小田総務部長のあいさつ

### ワークショップの目的と進め方　（進行:(株)対話計画 藤森さん）

- 蒲郡市には、公共施設の利用や維持管理、更新についての「**公共施設マネジメント実施計画**」があり、**今年度はその見直しの年**です。見直しにあたり、市民の声を反映するため市民アンケートを行うほか、今回の市民ワークショップを開催するものです。
- 今回は、様々な立場の市民がバランスよく集まって蒲郡市の”まちの縮図”のような話し合いになるよう、無作為抽出したアンケート対象者に呼びかけて参加者を募りました。



### 参加者はこうして選ばれました

**2,000 人**
市民アンケートの対象
（市内に住む 15～75 歳から無作為に選びました）

▶

**61 名**
ワークショップに応募した市民の方

▶

**32 名**
性別・年齢・地域のバランスができるだけ「まちの縮図」になるよう選出
※第 1 回の参加は 25 名

### グループワーク①　参加者の自己紹介

まずは 4 つのテーブルごとに参加者の自己紹介を行いました。各自が①お名前、②参加の動機、③お気に入りの市内公共施設を自己紹介しあってなごやかな雰囲気になりました。

各テーブルには専門家や大学スタッフがついて、話し合いをお手伝いしました。



## 2 蒲郡市の公共施設の現状と課題について

お話：蒲郡市　資産マネジメント課　上田さん

少子高齢化や共働き世帯の増加、デジタル化などで、子育ての相談窓口や高齢の方の見守り、オンライン手続きなど、**求められる支援やサービスが変わってきました。**それを届ける場である公共施設も、時代に合わせて進化していくことが大切です。



蒲郡市資産マネジメント課
上田さん

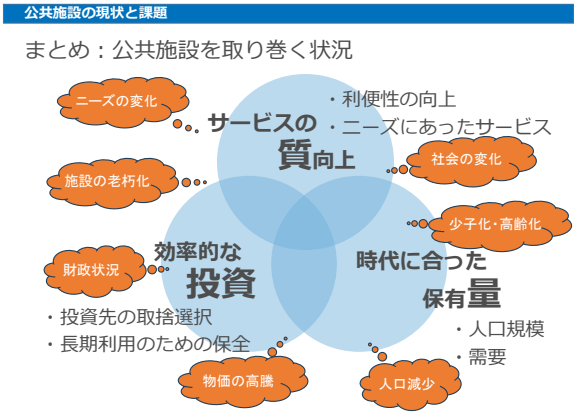
**約 7 割**
築 40 年以上の建物(築 50 年以上も 4 割超)

**8 番目に多い**
人口 1 人あたりの施設面積が県内 38 市のうち

**約 5 割高**
建設物価の急激な上昇で建築費が増

**将来 2 倍以上**
現在の公共施設の規模を保つには、直近 5 年の 2 倍以上の**費用**が必要

- 人口は**昭和 60 年(1985 年)がピーク**。令和 2 年までの 35 年間で約 6,000 人減少。令和 32 年(2050 年)には**約 63,500 人**になる予測だが、最新の国勢調査ではそれより早いペースで減少しています。
- 65 歳以上は人口の約 3 割から 4 割弱へ増加。税金を納める世代が減るため、施設の維持費用のやりくりが課題です。
- 市の公共施設は合計で約 29 万㎡。多くが昭和 50 年代までに建てられ、**近い将来、まとめて建て替えの時期**がきます。
- いまの規模を保つと、**50 年間で約 2,432 億円(年平均約 48.6 億円)**。直近 5 年は年平均約 20 億円でした。
- 建築費はここ 10 年で約 46%も急上昇。そこで、大型事業は**規模や時期を見直して 25%ほど費用を抑える**方針を先日発表しました。




**そこで大切な 3 つの視点:①サービスの質を上げる ②むだなく賢く投資する ③時代に合った量にする。**この 3 つで施設を総合的に考える取り組みが「公共施設マネジメント」です。めざすのは、便利で使いやすい、時代に合った公共施設です。

## グループワーク② 話しを聞いて思ったこと、聞いてみたいこと

話しを聞いた感想や質問などを 4 つのグループごとに出し合って共有しました。以下は一部の抜粋です。

### みんなの感想

- **お金の面は、思った以上に大変。**建築費の高騰や、若い世代の負担を心配する声が多く出ました
- **築 50 年以上の建物の多さ、施設の多さに驚いた。**少子化なのに学校施設が約 5 割を占めるとは意外だった。
- **建物をまとめる、民間の力を借りる**、収入を増やし支出を減らすなど工夫が必要と思った
- 人口が減っていくからこそ、**他の市からも訪れたくなる魅力ある施設**や、長く住むほど得をする仕組みがほしい
- 子育て施設が充実していると感じる。一方で、車のない学生や高齢は行きにくくなるのが心配。





### 聞いてみたいこと

- 避難所になる施設が老朽化しても大丈夫なの？
- どの施設から着手するのか、優先順位はどうするの?
- 新築するのと改修して使い続けるのはどちらが安いの?
- 公共施設を多く建てた時代には蒲郡市特有のニーズがあったのか
- 人口減少に対し何か対策をしてるの？

## 3 公共施設を、次の世代へ(公共施設マネジメントの大切さ)　お話:名古屋大学 恒川 和久 教授

恒川先生は、10 年ほど前から蒲郡市の公共施設づくりに関わっている専門家です。全国の例もふまえて、「公共施設マネジメント」がなぜ大切なのかをお話しくださいました。

### 公共施設をとりまく環境が変わっています

蒲郡市をはじめ全国で高度経済成長期に建てた施設が、いっせいに古くなってきています。一方で、地震や風水害への備えや、気候変動に対する省エネなど環境への取り組みも求められています。また、子育て・高齢者福祉・文化交流など、公共施設の使い方のニーズも多様になってきました。特に、人口が減り、地域のつながりが薄くなっていることも課題です。

**だからこそ、公共施設の「持ち方」と「使い方」を見直すときです。**

### 公共施設マネジメントって、どんな考え方?

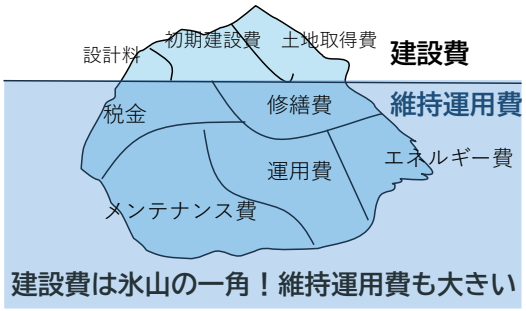
施設を大切な財産としてとらえ、**①むだのない費用で ②よい状態の施設を ③必要な分だけ、必要なときに、長く**提供すること。「お金」「質」「量」のバランスが大切です。建物が多ければよい、お金が少なければよい、という話ではありません。






お話：名古屋大学　大学院工学研究科　教授　恒川和久さん

### 建物は、建てたあともお金がかかります




建てるときの費用は、建物にかかる全体の費用の「氷山の一角」。建てたあとの点検や修理、光熱費なども含めて考え、不具合を早く見つけて計画的に直すと、建物が長持ちし、費用も抑えられます。

### 蒲郡市の公共施設はどんな特徴があるか

- 愛知県内の自治体を、施設を整えた時期で分けると、蒲郡市は**早い時期に整えたタイプ**。そのぶん、古くなるのも早めです。
- 同じくらいの人口・人口密度の市と比べて、**1 人あたりの施設が多め**。学校区ごとに施設を整えてきたことが背景にあります。

### 限られたお金をどう活かすのか?

市には、福祉・教育・防災など、公共施設以外にも大切な仕事がたくさんあります。施設をどうするかは、「何にお金を使うか」という未来の選択です。

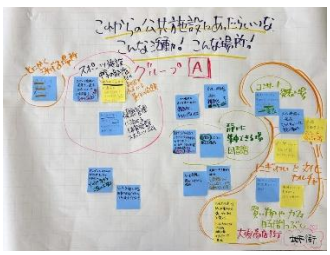
| 大切にしたいこと | 気をつけたいこと |
|---|---|
| • 安全を守る | • 修理を先送りにすること |
| • 豊かな生活を支える | • 建てる費用だけで決めること |
| • 必要なサービスを守る | • 施設ごとにバラバラに決めること |
| • 将来世代の負担を考える | • 自分の地域だけを見ること |
| • 費用が一度に集中しないようにする | • どう使われているかを見ないこと |

**今回のワークショップでみなさんと一緒に考えたい 3 つの問い**

① どんな「**活動**」をしたい? どんな「**場**」がほしい?
② そのために必要なサービスや機能は?
③ 今から優先したいことは? どうやって実現する?

## グループワーク③ これからの公共施設にあったらいいな、こんな活動、こんな場所

恒川先生のお話しを受けて、公共施設で普段どんな暮らしをしたいのか、「これからの公共施設にあったらいいな、こんな活動、こんな場所」をテーマに、４つのグループごとに意見を出し合いました。



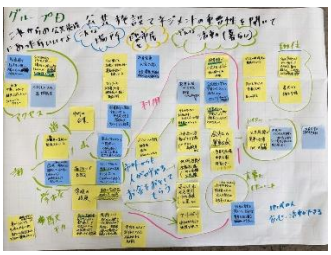

グループ A




グループ B




グループ C



グループ D

## グループワーク③で出た「あったらいいな」の意見を抜粋（テーマ別）

### ふらっと立ち寄れる、交流の場
- 目的がなくても立ち寄れる(公民館は用事がないと行きづらい)
- 高齢の方が楽しく交流でき、孤独も防げる
- 小中学生と高齢の方がふれあえる
- 市役所の人と市民が話し合える場

### 子どもと子育て世代の居場所
- 歩き・自転車で、子どもだけで行ける場所
- 部活の代わりになる場、お弁当を食べられる室内スペース
- 子育て中の親の息抜き、夏に室内で遊べる場所
- 学校の空き教室や校庭の開放、こども食堂

### 図書館・学びの場
- 静かな場所と、にぎやかな場所を分けてほしい
- 中高生が勉強できる自習室(今は満席のことも)
- カフェ、プラネタリウム、読み聞かせなどのイベント
- テレワークにも使える作業スペース

### スポーツ・健康づくり
- 体育館を平日ももっと活用
- 中高生が通えるスポーツクラブ、体操などの健康づくり
- 泳げる場所、市民プールの復活
- ライブもできる大きな会場(アリーナ)

### 文化・にぎわい・イベント
- コンサートホール、アマチュアの発表の場
- 画廊・カルチャーセンターなどの文化施設
- マルシェや日曜市、にぎわう商店街
- フェス・コスプレ、日本酒の会、アート活動

### 駅前・まちなか
- 文化・スポーツの施設を駅前に集める
- 高架下の活用、電車が止まっても過ごせる場所
- 夜も明るく、安心して歩ける道
- 車のない子どもや高齢の方も使える駅近の場

### 移動・アクセス
- コミュニティバスを市内全域へ(乗り合いの送迎も)
- 観光地へのシャトルバス・タクシー
- 自転車で安全に行ける道路
- 駐車場に余裕を。車でも公共交通でも使いやすく

### 自然を活かす・外から人を呼ぶ
- 日陰の多い公園、キャンプやバーベキューができる公園
- 海沿い・ラグーナ付近の活用、里山を市民と整備
- 竹島水族館のような人を呼ぶ施設、映画館
- 市外の人に来てもらい、まちで楽しんでもらう

### 使いやすい仕組みと情報発信
- 学校と保育園を一緒にする、1か所でいろいろ済む場に
- 施設の予約・貸出、備品の貸出が簡単に
- どんな施設・サービスがあるかを知る方法(ホームページ、看板)
- 小中学校の安全は守り、いまの良さに新しい要素を

**恒川先生のまとめ:** 公共施設の枠を超えて、暮らしの目線でたくさんのアイデアが出ました。すべてを実現するのは難しいかもしれませんが、次回以降は、これらを実現するために「何から取り組むか」も考えていきましょう。

## 参加したみなさんの声 参加者アンケートより

### 公共施設の現状について
- 普段は知れない情報をたくさん知る事ができ良かった。
- 長期的なマネジメントの必要性を痛感した。
- 出た意見は全てあれば良いけど、優先度をつけて収支を考えないといけない。
- 今ある公共施設の良さを残しつつ、新しい要素を加えた施設がつくられるのが楽しみ。
- 公共施設だけでなく、これからの蒲郡やどんな生き方をするかなど深いところまで話し合えてよかった。

### 進め方・ご感想
- かた苦しい場ではなく笑いもあり楽しかった。
- グループのみなさんがのびのびと意見を出していて楽しかったです。
- 意見交換の時間が多めだしよかったです。
- 説明の時間を短くして、話し合いの時間をもっと増やしてほしい。
- どう意見が反映されていくのかな。

## 次回以降（第 2 回・第 3 回）の予定

| | 日 時 | 会 場 | テーマ |
|---|---|---|---|
| 第 2 回 | 10 月 4 日(日) 9:40〜12:00 | 西浦公民館 会議室 | 施設のアイデアを共有しよう |
| 第 3 回 | 11 月 8 日(日) 9:30〜12:00 | 蒲郡市民会館 大会議室 | 施設のこれからを考えよう |